

「HiSCO による肝がん共通データベース事業」

○ 研究の目的

広島県内のがんの治療向上に貢献するために、広島県内の医療機関が一体となって、肝がんの外科治療成績を体系把握する必要があります。そこで、広島臨床腫瘍外科研究グループ（Hiroshima Surgical study group of Clinical Oncology: HiSCO）は広島県内のほぼ全ての医療機関における肝癌データベースを統合することに致しました。このHiSCOによる肝がんデータベース事業を通じて、広島県内の患者さんにより良い医療を提供することが可能となります。

○ 研究対象者

平成2年1月1日から、東広島医療センター外科にて肝がんの外科治療を受けられた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は身長、体重、性別、血液検査、病理所見、退院後の生存確認調査です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

データはHiSCO事務局（広島大学病院内）に収集します。

○ 研究期間 平成27年12月14日（承認日）～平成37年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

.....
お問い合わせ先

〒739-0041 東広島市西条町寺家513

T e l : 082-423-2176

国立病院機構 東広島医療センター 外科

高橋 忠照（研究責任者）

大森 一郎（担当者）